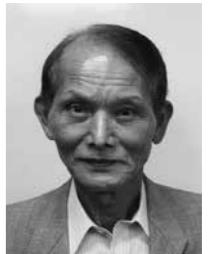


### ▼小笠原征太郎

選挙管理委員長



今回の投票率が約66%で、前回の投票率から7%低下した。全国的に見ても投票率は低下している状況であり、選挙人の高齢化だけでなく、選挙に対して意識が低下しているのも要因だと考えている。試行錯誤しながら投票率アップに繋がる努力をしていく。

### ▼小笠原征太郎

選挙管理委員長

今選挙公報は条例で規定すれば可能だが、政見放送は公職選挙法の規定により困難だと思つ。

### 問3

答

岩崎町政16年の自己評価は現状に対する思いは

▼岩崎憲郎町長

町長就任中の後半は度重なる豪雨等により、想定外の災害が頻発するという状況であったが、町長の思いは。

▼岩崎憲郎町長

全国的にも自然災害が頻発化、激甚化し、身近に脅威が迫つてゐる状況である。行政として安全を守る取り組みが重要になつてきてしい。

▼岩崎憲郎町長

減少率は更に高くなつてゐる。この現実をしつかりと受け止め、日々の生活の當み、生産の當みに代表される山村の當みを続けていきことが本町の明日を創ることか広い自治に流れている。

▼岩崎憲郎町長

最小の自治体の取り組みである地方自治が、道州制とか広い自治に流れているのではないかという危惧がある。最低賃金の格差、医療、介護の問題等があり非常に厳しい状況の中で頑張つてゐる地方をどうやつたら助けてくれるのか、一緒に考えてもらいたい思想は。

▼岩崎憲郎町長

減少率は更に高くなつてゐる。この現実をしつかりと受け止め、日々の生活の當み、生産の當みに代表される山村の當みを続けていきことが本町の明日を創ることか広い自治に流れている。

### 問2

答

広報の工夫と住民参加を推進せよ住民が理解しやすい表現を

今後検討すべく措置する

▼前野由和議員

号で決算の報告が掲載されていた。分かりやすく読んでもうう工夫がされていたが、広報誌と交付税の例示や財源内訳等において、一部疑問を感じる表記箇所があつたが所見は。

▼前野由和議員

ゆとりすと広報誌の12月連の記事に財政緊迫といつ記載があつたが、広報誌と同様に本町の財政状況を住民に的確に理解させる表現か疑問を持つた。今後は表現方法の工夫や説明が必要だと感じた。住民によるモニター制度の活用など、今後執行部には検討してほしい。

▼前野由和議員

高知新聞でも町長選挙関連の記事に財政緊迫といつ記載があつたが、広報誌と同様に本町の財政状況を住民に的確に理解させる表現か疑問を持つた。今後は表現方法の工夫や説明が必要だと感じた。住民によるモニター制度の活用など、今後執行部には検討してほしい。

▼前野由和議員

意見を受け止め、いろんな反応がある広報作りをしてきたが、今後は更に関心を持つていただけるような議論、日頃の取り組みができるところ理解している。

### 問4

答

山村の當みを守る事が重要な

▼岩崎憲郎町長

山村の當みを守ることが重要なことが本町の明日を創ることか広い自治に流れている。

▼岩崎憲郎町長

山村の當みを守ることが重要なことが本町の明日を創ることか広い自治に流れている。

### 問5

答

16年の教育行政の総括は道半ばだが感謝している

▼岩崎憲郎町長

16年の教育行政の総括は道半ばだが感謝している。

▼岩崎憲郎町長

16年の教育行政の総括は道半ばだが感謝している。

### 問6

答

16年間の締めくくりとしての思いは走り続けることができた

▼岩崎憲郎町長

16年間の締めくくりとしての思いは走り続けることができた。

▼岩崎憲郎町長

16年間の締めくくりとしての思いは走り続けることができた。

▼池添修一教育長  
令和4年4月開校の大豊学園で、一人一人の可能性を伸ばし、自己と未来を創造する力をしっかりと身につけ、社会で活躍できる成人育つてほしいと思う。

▼藤丸高徳議員  
教育長としての6年間を振り返つての思いは。



### 問4

答

自治体のデジタル化など、社会全体が新たなステージに移行しようとしている。制度、政策が変わつ

▼岩崎憲郎町長  
自治体のデジタル化など、社会全体が新たなステージに移行しようとしている。制度、政策が変わつ

▼藤丸高徳議員  
自治体のデジタル化など、社会全体が新たなステージに移行しようとしている。制度、政策が変わつ

6年の教育行政の総括は教育長としての取り組みは道半ばだが感謝している

▼池添修一教育長  
就任当時、教育改革は教育委員会だけではできないと痛感し、出会いと繋がりを大事にして、教育環境の整備、小中一貫教育の推進に精力的に取り組んできました。教育施設の一体的工事が竣工し、義務教育学校が開校できることがありますて、議会、町民、保護者の皆さん、教育関係者に感謝申し上げます。

現在新校舎等を建築し、一貫教育で学ぶ子どもたちへの思いは。



### 問5

答

副町長としての16年間の思いは町長の補佐として総括は財政再建が命題だった

▼岩崎憲郎町長  
副町長としての16年間の思いは町長の補佐として総括は財政再建が命題だった

1期目は財政再建といつ大命題に起債の借り換えを走り続けることができた

▼藤丸高徳議員  
長い16年の務めを終えるに当たり、一生懸命にやつてきた思いは。

▼好永公一副町長  
町長の補佐としての16年間、財政再建等町政に携わってきた思いは。

1期目は財政再建といつ大命題に起債の借り換えを走り続けることができた

▼藤丸高徳議員  
長い16年の務めを終えるに当たり、一生懸命にやつてきた思いは。

▼好永公一副町長  
町長の補佐としての16年間、財政再建等町政に携わってきた思いは。

▼藤丸高徳議員  
長い16年の務めを終えるに当たり、一生懸命にやつてきた思いは。

▼岩崎憲郎町長  
今思つと早い時間が過ぎ